第2回 三 朝 町 議 会 定 例 会 会 議 録 （第7日）

令和8年3月11日（水曜日）

議事日程

令和8年3月11日　午前10時開議

（質　疑）

日程第1　議案第8号　令和8年度三朝町一般会計予算

日程第2　議案第9号　令和8年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算

日程第3　議案第10号　令和8年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算

日程第4　議案第11号　令和8年度三朝町介護保険事業特別会計予算

日程第5　議案第12号　令和8年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算

日程第6　議案第13号　令和8年度三朝町財産区特別会計予算

日程第7　議案第14号　令和8年度三朝町水道事業会計予算

日程第8　議案第15号　令和8年度三朝町下水道事業会計予算

日程第9　議案第16号　三朝町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について

日程第10　議案第17号　三朝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

日程第11　議案第18号　三朝町手数料条例の一部改正について

日程第12　議案第19号　三朝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

日程第13　議案第20号　三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

日程第14　議案第21号　三朝町介護保険条例の一部改正について

日程第15　議案第22号　温泉資源活用施設の指定管理者の指定について

日程第16　議案第23号　三朝町過疎地域持続的発展計画の策定について

日程第17　議案第24号　令和7年度三朝町一般会計補正予算（第9号）

日程第18　議案第25号　令和7年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

日程第19　議案第26号　令和７年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第４号）

日程第20　議案第27号　令和７年度三朝町財産区特別会計補正予算（第１号）

日程第21　議案第28号　令和７年度三朝町水道事業会計補正予算（第３号）

日程第22　議案第29号　令和７年度三朝町下水道事業会計補正予算（第５号）

本日の会議に付した事件

（質　疑）

日程第１　議案第８号　令和８年度三朝町一般会計予算

日程第２　議案第９号　令和８年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算

日程第３　議案第10号　令和８年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算

日程第４　議案第11号　令和８年度三朝町介護保険事業特別会計予算

日程第５　議案第12号　令和８年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算

日程第６　議案第13号　令和８年度三朝町財産区特別会計予算

日程第７　議案第14号　令和８年度三朝町水道事業会計予算

日程第８　議案第15号　令和８年度三朝町下水道事業会計予算

日程第９　議案第16号　三朝町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について

日程第10　議案第17号　三朝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

日程第11　議案第18号　三朝町手数料条例の一部改正について

日程第12　議案第19号　三朝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

日程第13　議案第20号　三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

日程第14　議案第21号　三朝町介護保険条例の一部改正について

日程第15　議案第22号　温泉資源活用施設の指定管理者の指定について

日程第16　議案第23号　三朝町過疎地域持続的発展計画の策定について

日程第17　議案第24号　令和７年度三朝町一般会計補正予算（第９号）

日程第18　議案第25号　令和７年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）

日程第19　議案第26号　令和７年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第４号）

日程第20　議案第27号　令和７年度三朝町財産区特別会計補正予算（第１号）

日程第21　議案第28号　令和７年度三朝町水道事業会計補正予算（第３号）

日程第22　議案第29号　令和７年度三朝町下水道事業会計補正予算（第５号）

出席議員（10名）

１番　伊　藤　博　文	２番　石　谷　　正
３番　森　　貴美子	４番　小　椋　泰　志
５番　河　村　明　浩	６番　吉　村　美穂子
７番　山　口　　博	８番　藤　井　克　孝
９番　遠　藤　勝太郎	10番　松　原　成　利

欠席議員（なし）

欠　　員（なし）

事務局出席職員職氏名

事務局長	藤　井　和　正	主事	菅　田　知　佳

説明のため出席した者の職氏名

町長	松　浦　弘　幸	副町長	赤　坂　英　樹
教育長	塩　谷　俊　樹	総務課長兼町民課長	山　口　良　輔
地域振興監	藤　井　紀　好	会計管理者	毛　利　　純
財政課長	吉　田　栄　治	建設水道課長	松　村　倫　明
福祉課長	岩　山　裕　和	観光交流課長	竹　本　将　樹
農林課長	山　中　恵　子	農業委員会事務局長	山　本　達　哉
総務課参事	山　口　圭　一	企画健康課参事	米　田　　真
建設水道課参事	蔵　増　繁　幸	教育総務課長	角　田　正　紀
社会教育課長	谷　川　篤　志	図書館長	安　田　　寛

午前９時５７分開議

○議長（松原　成利君）　少し早いですが、ただいまの出席議員数は１０名であります。定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日届出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。

以上、報告いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

―――――――――――――・―――・―――――――――――――

日程第１　議案第８号　から　日程第２２　議案第２９号

○議長（松原　成利君）　お諮りいたします。議事の進行上、この際日程を変更して、日程第１から日程第２２までの２２件の議案を一括議題といたしたいと思います。これに御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第１から日程第２２、すなわち議案第８号から議案第２９号の２２件の議案を一括議題とすることといたします。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、１件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

予算書により進めます。

議案第８号、令和８年度三朝町一般会計予算について、質疑はページの順を追って行います。

まず、１２ページ、第２表、債務負担行為及び第３表、地方債について、質疑はありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、歳入について、説明欄の順を追って質疑を行います。

１６ページ上段、町税、１、個人の均等割、所得割から２１ページ中段、使用料及び手数料、５、農林水産業費手数料の農業委員会各種証明手数料まで、質疑はありませんか。

８番、藤井議員。

○議員（８番　藤井　克孝君）　これは何かいな。明細書の分のほう、説明資料でないほうですね、２０ページの分で、民生使用料の分で賀茂保育園とみささこども園、これ昨年の分、金額が昨年より上がってる部分の説明ができたらお願いいたします。

○議長（松原　成利君）　山口町民課長。

○総務課長兼町民課長（山口　良輔君）　御質問、賀茂保育園、みささこども園の使用料、利用者負担分のことでしょうか。（「ええ、そうです、はい」と呼ぶ者あり）こちらに関しましては、現状、令和７年度の実績から見て、若干保育園に通われてる保護者さんの構成で利用者負担をいただかなければならない部分があるんですけれども、実情に合わせた形で見込んで計算をしておりますので、小学校に上がられる世帯とまた新しく入ってこられる世帯、そして今現在保育園におられる世帯というのがございますが、その辺の関係で入る部分が多いというふうに見込んでおります。決して園児が増えるわけではなくて、園児は同じぐらいなんですけれども、保育料を頂かないといけない世帯が増えるという見込みでございます。以上です。

○議長（松原　成利君）　藤井議員、ちょっとマイクが入っておりませんで、ありがとうございます、手前のほうに向けてください、自分のほうへ。

藤井議員。

○議員（８番　藤井　克孝君）　今、利用者の負担部分で分かる部分でいいので、その分教えてもらえたらと思いますけど。お願いします。

○議長（松原　成利君）　山口町民課長。

○総務課長兼町民課長（山口　良輔君）　個人個人の一人一人のところは試算の中でのものですのでちょっと分かりませんけれども、結局三朝町の場合、第１子の方の保育料は頂く形にしております。ですからその部分が増えるのと、そうですね、第１子の分は頂く部分がありますので、第２子、第３子については無料ということにしてますので、第１子の割合が増えるということでこちらの額が少し上がると見込んでおります。

○議長（松原　成利君）　そのほか。

藤井議員。

○議員（８番　藤井　克孝君）　土木使用料の部分で、同じ２０ページで、町営住宅使用料、滞納繰越分、これが昨年度より今年度のほうが上がってますけど、この部分の説明ができたらお願いいたします。

○議長（松原　成利君）　蔵増建設水道課参事。

○建設水道課参事（蔵増　繁幸君）　先ほどの御質問についてですが、滞納繰越分ということでして、１名の方がお支払いいただけてない方がかなり長い間の部分がございます。この方について、６年度までの使用料と、７年度はありませんが、それを見込みまして現在の額になっておるわけでございます。以上でございます。

○議長（松原　成利君）　そのほか。ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、２１ページ下段、国庫支出金、１、民生費国庫負担金の児童手当費から２９ページ中段、県支出金、６、民生費委託金の人権啓発地域活性化事業委託金（講演会等開催事業）まで、質疑はありませんか。

９番、遠藤議員。

○議員（９番　遠藤勝太郎君）　２８ページの教育費県補助金の中の保健体育費県補助金の中に給食費負担軽減交付金というのがありますね。これは国が打ち出しておる5,２００円の小学校の児童数というふうに考えて間違いないでしょうか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　遠藤議員のお見込みのとおりでございます。

○議長（松原　成利君）　そのほか。ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、２９ページ下段、財産収入、１、財産貸付収入の賀茂保育園貸付収入から３７ページ、町債、消防費の廃目整理まで、質疑はありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

続いて、歳出についての質疑を行います。

３８ページ上段、議会費、１、議会費の議会人件費から５０ページ中段、総務費、１、監査委員費の県監査委員協議会負担金まで、質疑はありませんか。

６番、吉村議員。

○議員（６番　吉村美穂子君）　予算資料の４４ページ、１２の地域振興対策費の右の項目の下から２つ目、地域プロジェクトマネージャー、これほぼ人件費ってお聞きしたんですけれども、その内容と、すみません、まとめて言いますけども、令和７年度にプロジェクトマネージャーを配置されて、令和８年度がこの金額になっているんですけれども、この内容と、そのもう一個下の移住・定住環境整備プロジェクト事業費も予算についてるんですけれども、これに対して移住定住のいわゆる何人ぐらい移住がなされたのかとか、その効果、その辺を教えてください。

○議長（松原　成利君）　米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　まず、地域プロジェクトマネージャー事業費ですが、こちら

については、７年度が１１月からの配置でしたので、８年度は１年分ということで通年の人件費と活動経費を計上しておりますので、前年よりは高くはなっております。

それから、次の移住・定住環境整備プロジェクト事業費ということで、プロジェクトマネージャーが８年度に取り組む活動を計上しております。

それから、移住者ですかね、県のほうに年に上半期と下半期で報告はしております。それが必ずしも、何ですか、純粋な移住者の数とはイコールとはならないものになってますので、それの数の増減で直接移住の効果があったかどうかというところがちょっと推し量れない部分はあります。具体的な数をですかね、ちょっと待っていただいてよろしいでしょうか。

○議長（松原　成利君）　しばらく休憩いたします。

午前１０時０９分休憩

午前１０時０９分再開

○議長（松原　成利君）　再開いたします。

米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　先ほど申し上げました県の転入調査からですけども、令和６年度でいきますと４２世帯の４９人というのが最新の数値となっております。

○議長（松原　成利君）　吉村議員。

○議員（６番　吉村美穂子君）　具体的な目標とかが今漠然としてるなと思うんですけども、人件費に５７２万6,０００円と環境整備プロジェクト事業費２４６万8,０００円ついてるんですけれども、もう少し具体的に移住に対して積極的にやるべきじゃないかなと思うのと同時に、定住環境整備プロジェクトというのは具体的にどういうことをされるんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　まず、移住・定住環境整備プロジェクトですけども、移住定住と空き家に関するものになります。まずプロジェクトマネージャーが各分野ごとに今ばらばらに業務をやっている移住定住に関するもの、空き家に関するものを横断的に取りまとめて情報を整理しています。８年度におきましては、まず食と農業を軸とした移住体験を行うということ、それから町の暮らし、取組を可視化するために冊子、情報の冊子を作るということ、それから空き家バンクに関しては今登録から掲載までの流れが非常に悪いというところで、そこら辺の動線をスムーズにしていくということを、３つを８年度の取組としては掲げております。

○議長（松原　成利君）　吉村議員。

○議員（６番　吉村美穂子君）　３回目なんですけど、移住定住の三朝のホームページ見たんですけれども、２０２５年の１１月２０日から更新されてないと思うんですけれども、この辺りはどこの所管になるかちょっと分からないんですけども、どのようにＰＲしてるのかなということが気になるので教えてください。

○議長（松原　成利君）　米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　プロジェクトマネージャーが１１月から配置しまして、どういうことをやるか、各課ヒアリングを通したり、保育園とか学校とかまで行って８年度以降の取組を考えてまいりました。今回、予算のほうにも反映させていただきましたが、先ほど申し上げた３点で活動をしていくというような方向を出したということで、それが今すぐまだホームページのほうにはちょっと反映してませんけども、議会終わりましたらそういったプロジェクト、活動内容を公開していこうかと思っております。

○議長（松原　成利君）　そのほか、ありませんか。

７番、山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　予算書４２ページにあります総務管理費の中の企画費の中で、「書かない窓口」サービス導入事業で５５６万4,０００円ですけども、これは今回は初期投資の部分を含まれての５００万になると思いますけども、今後の経費的な問題、それから今回非常に便利だという考え方で設定しておられますけども、想定人数などはどのように計画しておられるのか、その辺を聞かせてほしいと思います。

○議長（松原　成利君）　岩山福祉課長。

○福祉課長（岩山　裕和君）　ただいまの御質問に対してですが、ランニングコストに関しましては、年間２０万円弱ほどを見込んでおります。数なんですが、利用に対する効果検証に対して利用率、実際に窓口に来られた方の何割がこのサービスを使われたかというところで検証を図っていくことにしておりますが、想定する人数としましては具体的には設定しておりません。

○議長（松原　成利君）　山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　やはり大きな金をかけて取り組むということには、やはり費用対効果というのがある程度考える必要があるんじゃないかなというように思いますんで、そういう点もやっぱり考慮して設定すべきではないかなと思いますんで。以上です。

○議長（松原　成利君）　４番、小椋議員。

○議員（４番　小椋　泰志君）　予算書の４４ページのふるさと応援寄附金についてです。一般経費と特別経費とそれぞれあるんですけれども、予算説明資料の１９４ページに、この内訳につい

て書いてあります。ここの中のふるさと納税自販機について、自販機の関係部分と思われるのが、自販機手数料、それと自販機寄附額掛ける9.8％、それと自販機リース料という3つの項目が上がってると思うんですけれども、これ、この部分について、簡単でいいので、どういった内容のものかということをまず最初に教えてください。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　ふるさと納税自販機についてでございます。まず、手数料でございますが、手数料については寄附額掛ける指定のパーセンテージということでございます。具体的には、クレジット手数料を含めて大体１１％ほどの手数料がかかってございます。

次に、あとリース料でございますが、リース料につきましては5年契約で大体1か月に今１６万円を支払っております。これ5年で支払いが完了しますけれども、そういったもののリース料になってございます。

○議長（松原　成利君）　4番、小椋議員。

○議員（4番　小椋　泰志君）　今、ごめんなさい、僕は言った3つ、一番上、寄附額掛ける9.8パーというのが、何かちょっと僕、言い方悪いな。一般経費に上がっとる自販機手数料と特別経費で上がってる自販機リース料というのは何が違うのかというのがちょっとよく分からないので教えてください。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　説明がちょっとまずかったです。手数料の中にも、自販機に対する手数料と先ほど申しましたようにクレジット会社のほうに支払う手数料がちょっと別に分かれておりますので、そういった部分の整理だというふうに考えていただいてよろしいかと思います。

○議長（松原　成利君）　4番、小椋議員。

○議員（4番　小椋　泰志君）　自販機を導入して、実際に効果のほどというのはどんな効果があったのかというのをちょっと教えてください。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　自販機を導入しまして、具体的に申しますと、例えば令和6年度ですと年間に大体寄附額にして６００万円ほどでございます。7年度の速報値ですけれども、2月末時点で大体５００万円ちょっとを超えるというほどでございますので、実績としてはその辺りでございます。

寄附額もそうなんですけれども、一つ自動販売機の大きな効果といいますのが、やはり旅先で

寄附ができて、その場で返礼品をいただいて使えるというふうなメリットございますので、自動販売機入れたときには山陰で初というふうな設置の実績もございますし、そういった部分で本町のふるさと納税の目玉になる一つかなというふうに思ってますので、そういった格好で取組を進めているところでございます。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　41ページの企画費の中の中学生手作り訪仏事業について、本町からは毎年行かれとるわけですけれども、フランスからは10年に一遍だか5年に一遍だかという単位で、それも中学生じゃない一般の方が中心に来られる状況でありますが、町長にまず聞きますが、受入れ側のフランスのほうは友好的というか、好感を持って受け入れておられるかどうか、ちょっと確認したい。

○議長（松原　成利君）　松浦町長。

○町長（松浦　弘幸君）　フランスが日本に来る派遣の仕方とは日本から行くのとちょっと仕組みが違いまして、やはりそのときの町の財政状況だとかというのがあるようなところがこれまで一番大きいところもありましたけど、今の議会の方針では、積極的に子供たちを派遣しようというふうにここコロナが明けてから変わってきましたので、昨年、おととしもラマルーの議会議員さんが来られて、何年かに復活して、それで去年についてはそういうことを踏まえて子供たちを三朝に派遣しようというふうな方向が定められてきておりますので、去年はそういう形で子供たちを派遣をしてくださいました。そして、今年は3月にラマルーの町長選挙があって町長が替わられるので、また議員さんの中から選ばれてくるのでちょっと方向は分かりませんけど、形としてはラマルーの議員さんが言われるには、当選した議員の中でいわゆる国際交流が推進できる方を町長にしたいという意向を言われておりましたので、そういう方向で期待をしておるというところでございます。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　人数が生徒が6人と随行が4人ということのようでございますが、前、所管のときにも言っておりました、随行が多過ぎるじゃないかということ、まず1点。それから、保護者の方も行かれたり、行ってこられた方の保護者は物すごいいい事業だと言われる半面、行かれん方はそがいに毎年行かないけんだかやということを言われる方がたくさんあるということですわ。

それで、毎年行く行かんはかかわらず、随行の人数をもう少し削減すればちょっと違った方向に向くじゃないかと思うけど、そこら辺はどういうふうに考えておられますか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　ラマルーへの訪仏の引率の人数ということでございますが、生徒の人数と合わせまして教員、そしてＣＩＲ、それから町職員と、また年によっては特別職も随行で行くということにしておりますので、そこは御理解をいただきたいと思っております。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　理解せんけえ聞いとるですけど。それでね、要するに何が言いたいかといったらね、中学校3年間のうちに一遍行けばええというような考え、3年に一遍でええでないかという人があれば、隔年置きでもええとか、そういうことを言われるですわ。それで、財政的にごっついとかなったら毎年ごっついこと行かせたらええんでしょうけれども、そういうわけにもいかんので、何を検討するかといったら随行人数を減らせばちょっと減るじゃないかという考えで物を言っとります。これについて。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　派遣の期間につきましては、やはり生徒全ての派遣のチャンスといいますかね、そこをやっぱり考えた上で毎年派遣をさせたいというふうに思っておりますし、保護者の皆さんの御意見もあろうかとございますが、確かに行った生徒たち、保護者については非常によかった、有意義なものだったという説明をいただいております。ほかに行かなかった生徒についても、行った生徒の報告ですとかそういったことで機運を高めていきたいなと思っております。以上です。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　その下の中学校訪台事業について。これ聞きます。今これ１０人に対して6人ですか、引率が。これも先ほど言ったのと同じことで、随行者というのはね、例えば教育長が行かれたら付添いが職員が行くとか町長が行ったら職員が行くかという決まりはあるんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　特別職が行かれたら職員がつくというものはございません。この派遣事業については、町職員が随行するというものでございます。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　昨年の状況を見ますと、フランスには教育長が行かれて、教諭が行かれて、国際交流員、社会教育課係長、こういう格好。台湾は校長、教諭、県の国際交流員、観光交流課長、図書館副館長という格好で行っておられます。国際交流は町全体でするだけえと

いう考えなのか、中学生が行くんだけえ中学生、教育委員会関係というように絞るのか、その辺をちょっとはっきりしたほうがええんじゃないかと思います。というのが、町民は官費旅行で職員が行っとるだなというようなことを言われる人がようけありまして、弁解するのに困りますんで、その辺をちゃっとはっきり説明してもらいたいと思います。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　訪台の随行についてでございますが、人数が多いのではないかというような御意見かと思います。派遣の生徒数が１０名でありまして、女子生徒の数が最近増えておる関係で女子の職員を派遣させるというところで、執行部との調整によってこの人数で今派遣をしておるところでございます。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　単純に事業費割りますと、参加人数で、訪台が２１万ぐらいで訪仏が５０万ざっとかかっております。これ経費削減といったらね、随行員を2人減したら４０万とか1人減したら５０万とかという格好になってくる。それで７０万ぐらい減る。やっぱりね、町民が納得いくやあな格好にせんと、何だあのやり方はと言われたらいけんと思うんで、ちょっと所管のときから言っておりますけども、いっかな考慮されとらん。減員されん理由は何でしょうかね。随行の減員だよ。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　随行の人数につきましては、やはり業務の性質上、必要な人員を派遣をしてるということで御理解をいただきたいと思います。

○議長（松原　成利君）　5番、河村議員。

○議員（5番　河村　明浩君）　４４ページのふるさと納税の寄附についてでございますけれど、現在ふるさと納税をされる寄附者がされるときに、使い道について選ばれるわけでございますけれど、現在は観光と教育の分野ということでございますけれど、幅広く町の振興のために使っていただくということを考えれば、一本化するとか町長にお任せ分野とかを追加して、農業とかいろんな分野に使えるようにできないかお伺いいたします。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　既にそういうふうに使えるようになっているということでございます。

○議長（松原　成利君）　いいですか。

7番、山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　同じところでございますけども、ふるさと応援の特別経費の件ですけども、昨年に比べると４００万という大きな数字が少なくなっておりますが、どのような点でこのような数字になったのか、その辺を説明してください。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　様々な理由ございますが、一番大きな理由としましては、例えば今まで従前紙ベースのパンフレットを作ってございましたが、こういう時代もございますし、そもそも経費をかけなくてもパンフレットに準じたものを希望者には配布をできるというふうな体制もございますので、そういったものを削減をしてございます。あとは、広告費についても一部見直しをかけたところが、ざっとした減額の要因となってございます。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

１番伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　予算書の４５ページ、定住対策費でございます。予算説明書の１９２ページの定住支援員事業というとこございます。すみません、具体的にどういうことをやられる事業なのかということを教えてください。

○議長（松原　成利君）　米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　定住支援員事業のことだと思いますけども、こちらですが、これまで地域おこし協力隊で担っていた移住定住、空き家に関する実務的な業務ですが、こちらプロジェクトマネージャーになってしまわれたので、新しい取組を始めるということで、実務の受皿が必要になってくるというところから、今回定住支援員を配置するものでございます。

○議長（松原　成利君）　１番、伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　すみません、地域プロジェクトマネージャーと定住支援員とのすみ分けですよね、どういった関わり、共通する部分があると思うんですけども、そこら辺のすみ分けとかどういうふうに一緒にやっていくかというのを教えてください。

○議長（松原　成利君）　米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　プロジェクトマネージャーと定住支援員、両輪のイメージですけども、プロジェクトマネージャーが新しい取組など、各分野、外部団体との調整役などをする一方で、定住支援員は例えばふだんの移住相談業務であるとか、例えばお試し住宅の案内、空き家バンクの内見など、そういった実務、実働的な部分を担う人材として今回考えておりますので、すみ分けはできているかと思っております。

○議長（松原　成利君）　１番、伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　最後になんですが、鳥取県、平井知事が年間3,０００人の移住者を目標として事業やられてるそうなんですが、先ほど言った吉村議員からもあったんですが、具体的な目標値とかというのは何かあるんであれば教えていただきたいのと、なければそれは今後何か目標値をつくって移住者の目標値をつくってやられたほうがいいんじゃないかと思いまして、最後に質問させていただきます。

○議長（松原　成利君）　米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　プロジェクトを策定したときに数値目標は定めております。３つですが、空き家バンクの登録件数を年間１５件アップ、今現在だと２０件ぐらいの掲載にとどまってるんですが、そちらを増やしていく、それから移住相談件数についても３年で２倍に増やしていこうかということで２００％としてますけども、それからプロマネが企画する移住体験ツアーなどのイベントの参加者数も1.5倍に増やしていこうということで一応数値目標は掲げております。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

６番、吉村議員。

○議員（６番　吉村美穂子君）　予算書が４６ページで説明資料が１９２ページなんですけれども、お試し住宅維持管理事業の中で、このお試し住宅が今天神に１軒あると思うんですが、それが１軒なのかということと、１日、去年４月１日から1,９００円で単身もオーケーということで、かなりお試しがしやすくなったと思うんですけれども、この住宅を何件の方が利用したのかと、それからの移住につながった件数を教えてください。

○議長（松原　成利君）　米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　お試し住宅、今現在１軒、天神のほうにありますけども、令和６年の時点で、令和６年７月から始めて６年度は１組２人でとどまってました。７年度からは、先ほどおっしゃられましたように使用料を１日1,９００円にして、それから単身でもオーケーということにさせてもらいました。７年度ですが、今現在ですと利用が４組の６人、日数でいうと８５日間です。今現在も入居されている方が１人いらっしゃって、３月の下旬まで利用ということでございます。

ですので、条件緩和、料金下げたということで人数も増えてきたのかなとは思っておりますが、今この利用された方が三朝町に実際移住したというところまでは至ってはいません。

○議長（松原　成利君）　６番、吉村議員。

○議員（６番　吉村美穂子君）　令和７年度の予算では３８万7,０００円の維持管理費で、これが

今年度６２万4,０００円にアップしてるんですけれども、結局お試しをしても移住者につながらないという中で、維持管理事業というのは具体的にどういうことをされるんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　米田企画健康課参事。

○企画健康課参事（米田　　真君）　先ほど７年度から料金を下げたという部分が光熱水費の部分を町の負担としたというところで、電気代、ガス代、インターネットの使用料などを計上しております。それから、利用者の要望にありまして、天神なので自転車が欲しいというような希望がありましたので、８年度からはそういったもので用意して、温泉に行ってもらえればいいかなと思って今回計上しております。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

１番、伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　予算書４４ページですね、説明資料の１７３ページ、地域おこし協力隊事業についてなんですが、今回新規３名ということで予算に上がっております。どういった方を募集されるか教えてください。

○議長（松原　成利君）　藤井地域振興監。

○地域振興監（藤井　紀好君）　地域おこし協力隊の事業でございます。現在地域おこし協力隊１名が活動を行っておりますが、令和８年度は３名で、具体的に申し上げますと、１名は町の魅力発信業務として１名採用するということとしております。募集をしまして面接を行ってということで合格をした者がございますが、着任が前職の関係上、４月の着任となるので、８年度はまずは３名のうちの１名はそういった形でございます。それから、もう一名は２月末まで農林関係の募集をしておりました。昨日面接を行ったというところで、こちらのほうが合格となればこの３名のうちのもう一名。それから、もう一名につきましては、分野については農業、観光など地域振興を想定しながらということで考えておりますが、これまでの隊員の皆様の面接等でスキルなどをお伺いをして、町が求める希望とマッチングできるような形を意識しながら募集に努めてまいりたいと考えておるところです。以上です。

○議長（松原　成利君）　１番、伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　その活動費と人件費の件なんですが、すみません、一人頭隊員の人件費と活動費をちょっと教えてください。年間で結構です。

○議長（松原　成利君）　藤井地域振興監。

○地域振興監（藤井　紀好君）　活動費と人件費の金額というお話だったと思います。全体で申し上げます。全体で申し上げますと賃金としましては４名分で約８８０万、それから手当とかはち

ょっと除きます、今の話は。あとは活動費については、ざっとですけれども、活動旅費等も含めまして２００万程度でございます。

○議長（松原　成利君）　１番、伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　すみません、ちょっと何を聞きたいかというと、国の特別交付税の中で、地域おこし協力隊一人頭活動費が２００万円、報償費が３５０万という上限があるんですけども、私ごとで恐縮なんですが、私が協力隊で活動してる際に、マックスを使うんじゃなくてある程度役場の賃金、職員さんの賃金を見ながら賃金を設定してたというふうな話だったんで、多分今回予算の中で、実際の活動費と報償費が上がってるんじゃないかなというふうに思うんですけども、そこら辺いかがでしょうか。

○議長（松原　成利君）　藤井地域振興監。

○地域振興監（藤井　紀好君）　予算が増額した理由というお話で申し上げますと、まずは報酬の単価を引き上げました。といいますのが、ざっとですけども、三朝町の場合ですと大体月額１７万円程度でありましたが、これを県内の平均月額、大体２０万円程度ぐらいまで引き上げたということでございます。ですんで、交付税の有効に使わせていただくぎりぎりまでということで予算措置をさせていただいているものです。以上です。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

８番、藤井議員。

○議員（８番　藤井　克孝君）　予算書の４１ページの下段のちょこっと上の部分で企画費の部分の中で、入札参加資格審査申請共同受付システム参加経費の部分がありますけど、それで今まで大雨等、台風等で何、工事が遅れる、業者等もいろいろ見える中で、適切な入札方法というのをやっぱり選択していかなくちゃいけないんではないかと思いますけど、ちょっとそこら辺をお聞き、入札のやり方、お願いいたします。

○議長（松原　成利君）　吉田財政課長。

○財政課長（吉田　栄治君）　適切な入札の在り方でございますが、担当課から指名する入札の何社参加ですとかどこがいいのかという案をもらいまして、そこの中で指名審査会で指名をする業者を決定いたします。工期ですとかいろいろ内容を精査しましてやっておりますので、現在に至っては入札が不調に終わるということは今のとこありませんので、適切に行っていると思っております。

○議長（松原　成利君）　８番、藤井議員。

○議員（８番　藤井　克孝君）　災害復旧工事の農地の部分でも、やっぱり遅れとる部分が自分は

出とると思うんですよ。いろいろ委員会等の中でも聞かれますけど。やっぱり人員不足とかどうのこうので業者が言い訳されて工事が遅れる、そこら辺をやっぱり適切な入札のやり方をきちんとしていかないけんではないかと。やっぱりある程度遅れてる業者とかそこら辺もちゃんと見極めて、ペナルティーとかいろいろそういう部分も考えていかないけんではないかと思いますけど、再度お聞きいたします。

○議長（松原　成利君）　吉田財政課長。

○財政課長（吉田　栄治君）　町内業者を優先等々指名審査会で考慮したりとかありますが、議員言われるとおり、遅れ等々ありますので、町外の業者にも広げたり、いろいろそのような工夫もしながら、遅れるような業者は指名審査会ではどうかなということで審議をしながらやっておりますので、御指摘いただきありがとうございます。適切にやっていきたいと思います。

○議長（松原　成利君）　いいですか。（「いいです」と呼ぶ者あり）

そのほかありますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、５０ページ下段、民生費、１、社会福祉総務費の社会福祉費職員人件費から５６ページ上段、民生費、３、児童手当費の児童手当給付費まで、質疑ありませんか。

３番、森議員。

○議員（３番　森　貴美子君）　予算書の５４ページの下から４段目、三朝町すこやか乳幼児家庭保育応援事業の事業の内容を教えてください。

○議長（松原　成利君）　山口町民課長。

○総務課長兼町民課長（山口　良輔君）　すこやか乳児家庭保育応援事業というのは、保育園に預けられずに１歳になるまでを家庭で保育される家庭に対して、１名当たり３万円の補助金を出しているという事業でございまして、社会保険のほうの育児休業手当等をいただいている方に対してはちょっと対象外にはなるんですが、そういった制限をかけながらそういった家庭での保育を応援しております。以上です。

○議長（松原　成利君）　７番、山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　予算書５３ページの老人福祉費でございます。高齢者等の雪下ろし支援事業というんで２４万円、今年は２月の大雪等で実際かなり苦労された方が多かったんじゃないかと思いますけど、今年の実績と、それから全く同じ数字を上げておられますけども、２４万円、その辺の反映はなかったのか。

○議長（松原　成利君）　岩山福祉課長。

○福祉課長（岩山　裕和君）　今年の実績ですが、利用が１月に１名ございました。昨年との数字が同じということなんですが、予算要求時点では例年の数字を見込んでおりましたので、今年の利用状況等は反映した形にはなっておりません。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

７番、山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　５５ページにあります、これは児童福祉総務費で、一番上の欄にあります放課後等デイサービス事業、これが3,２９２万円という数字になっております。これは令和７年度に比べますと1,０００万の数字が増になっておりますけども、その理由とか内容等を教えてください。

○議長（松原　成利君）　岩山福祉課長。

○福祉課長（岩山　裕和君）　放課後等デイサービス事業の増額についてですが、７年度と比べて対象の児童が５名増えております。さらに増えることも見越して予算を組んでおりますが、１人当たりはおおよそ年間１３０万円程度になっております。以上です。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

〔質疑なし〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、５６ページ下段、衛生費、１、保健衛生総務費の衛生費職員人件費から５９ページ中段、衛生費、１、塵芥処理費の中部ふるさと広域連合負担金（し尿処理費）まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、５９ページ下段、農林水産業費、１、農業委員会費の農業委員一般活動費から６４ページ上段、農林水産業費、６、大規模林道事業費の大規模林道受益者賦課金助成金まで、質疑ありませんか。

４番、小椋議員。

○議員（４番　小椋　泰志君）　予算書の６１ページ、説明資料が１４７ページの鳥獣被害総合対策事業についてです。説明資料のほうを見ますと、ここの部分の特に侵入を防ぐ対策、これワイヤーメッシュだと思いますけれども、8,７００メートルで1,８３８万4,０００円という金額が上がってます。ここの部分が昨年と比べると倍以上に伸びておるという部分で、基本的にここは多分１０分の１０の事業なので、いわゆる今までやってなかったところを新規にやる部分がここに

当たるのかなと思うんですけれども、これがすごく増えたという理由は何なのかというところを教えてください。

○議長（松原　成利君）　山中農林課長。

○農林課長（山中　恵子君）　ここの部分が増えた理由としまして、大体例年、8年度の予算ですと8月ぐらいまでに要望を取りまとめるんですけど、そのときに鹿の被害が増えたということで、そういう申請が多くございました。ここはおっしゃるとおり、新しいところがほとんどでございます。

○議長（松原　成利君）　いいですか。

4番、小椋議員。

○議員（4番　小椋　泰志君）　鹿の被害が増えてるということでの要望が出たということだと思いますけれども、基本的に多分今まではイノシシの柵ということでやっとったと思うんですけども、例えばイノシシの柵をやったところに新たに、それじゃあ対応ができないので鹿の部分を重ねてやるというのも対象になるという考え方でいいんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　山中農林課長。

○農林課長（山中　恵子君）　状況にもよるんですけど、今回の場合は全て、1集落を除きまして全て新しい場所でございました。

○議長（松原　成利君）　7番、山口議員。

○議員（7番　山口　　博君）　予算書61ページにあります農地費ですけども、三朝町農地耕作条件改善事業、これ大瀬の土地改良でございますけども、去年のと比べて見とったら、いわゆる地元負担金のパーセントが計画上では9％、計画の際は。それから、今回は実行のほうの工事ですと9％から7％に変わってきてるんですけども、やはりそれは設計と工事とではその辺の差があるのか、その辺を説明してください。

○議長（松原　成利君）　蔵増建設水道課参事。

○建設水道課参事（蔵増　繁幸君）　山口議員からの御質問にお答えいたします。

地元負担金は私は7％だというふうに理解しておりますが、9％という数字が出ていたのでございましょうか。

○議長（松原　成利君）　7番、山口議員。

○議員（7番　山口　　博君）　昨年の説明書の中を見とったら、地元負担金が9％になってたんですね。今年これを見ますと7％になってたんで、その辺が設計と、それから工事はその辺に差が生じるのかいなということでちょっと聞いたわけです。

○議長（松原　成利君）　しばらく休憩いたします。再開を１１時５分といたします。

午前１０時５４分休憩

午前１１時０５分再開

○議長（松原　成利君）　再開いたします。

蔵増建設水道課参事。

○建設水道課参事（蔵増　繁幸君）　すみません、９から７になったという理由という明確なものはございませんが、諸条件によりまして７から９％の間で変動があります。現時点では７％ということで最小のパーセントで計算をさせていただいているところでございます。

○議長（松原　成利君）　山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　じゃあ昨年の７年度の予算の執行の中では、地元負担は９％で負担しておられるということですか。

○議長（松原　成利君）　蔵増建設水道課参事。

○建設水道課参事（蔵増　繁幸君）　現在のところ、まだ負担金は発生しておりません。

計算は９％で計算をさせていただいておりましたが、今のところ負担金を頂く段階ではありませんので、今後変動した額で計算させていただきたいと思っております。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

５番、河村議員。

○議員（５番　河村　明浩君）　６０ページの下から６番目の兼業農家等営農支援事業でございますけれど、この事業のこれまでの実績と、それとこれを受けるための要件といいますか、面積等の要件があれば教えていただきたいと思います。

○議長（松原　成利君）　山中農林課長。

○農林課長（山中　恵子君）　この事業は令和６年度からの事業で、営農を継続しようとする町内在住者の農業者に営農を維持発展していくために、機械導入に必要な経費を支援するものです。対象としましては、町内在住農家のうち３０アール以上の経営面積で、町の補助率は４分の１で上限が５０万円です。１件当たりが１０万円以上のもので、町税を滞納していない者とかの条件があります。これは中古も可能なんですけど、残存期間が２年以上または業者が２年以上の動作確認を確認をしたものという条件になっております。

○議長（松原　成利君）　５番、河村議員。

○議員（５番　河村　明浩君）　今、面積の要件が３０アールということでございましたが、兼業

農家を対象にされるのであれば、もう少し少ない面積といいますか、例えば町民農園でしたら１０坪とか２０坪程度でございますので、管理機とか購入するときでももう少し要件の面積要件を下げるべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（松原　成利君）　山中農林課長。

○農林課長（山中　恵子君）　この３０アール以上という面積につきましては、自分の自家消費ではなくて、おひさま市とかそういうところに出荷、販売をされている農家をちょっと想定をしております。

それで、この事業につきましては全国的にも本当珍しい事業でございまして、要望に来られた方につきましてはこういう事業の説明をした上で、近隣の方と共同して使われるように促したりとか規模拡大の意向を聞いたりとか、そういうことを確認しながら申請を受け付けております。

○議長（松原　成利君）　そのほか。

７番、山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　６４ページにあります、予算書、未来につなぐ森づくり事業の1,６２１万3,０００円ですか、これについて、そこの中で説明書の中に花粉発生源対策促進事業４８万円というのが上がっておりますが、その具体的な中身。

それから、そこのところに昨年の説明書によりますと、荒廃地の林地化促進モデル事業というのが昨年は行われてたようですけど、今回はないようですが、その辺の理由も説明していただけたら。

○議長（松原　成利君）　山中農林課長。

○農林課長（山中　恵子君）　花粉発生源対策促進事業は、これは全国的に花粉症が社会問題となっておりますので、花粉の発生源である杉やヒノキなど人工林を伐採をして、花粉の少ない品種への転換が求められておりますので、そういう伐採搬出に対しての費用を県と市町村で支援するものです。

もう一つの荒廃農地林地化促進モデル事業が今回ないのは、これは令和２年度からの事業でして、木地山を対象としております。荒廃した農地を林地化するために、浸食や鹿の食害対策等の植生試験を行ったものなんですけど、現在の状況では順調に育っているので様子を見ている状況で、今回は予算をつけておりません。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

４番、小椋議員。

○議員（４番　小椋　泰志君）　予算書の６２ページ、地籍調査費について。ここの中でリモート

センシング調査というのが出てるんですけれども、ここについて、ちょっとリモートセンシング調査、簡潔でいいのでどんなものかというのをまずちょっと教えてください。

○議長（松原　成利君）　松村建設水道課長。

○建設水道課長（松村　倫明君）　リモートセンシングを活用した地籍調査の航測法ということでございまして、空中写真や高速レーザー測量の既存データを使用して、現地に立ち入ることなく図上で土地の境界調査や面積測定を実施する方式でございまして、推定した境界の位置を示す図面を基にして、机上立会が可能となる新しい手法となっております。以上でございます。

○議長（松原　成利君）　4番、小椋議員。

○議員（4番　小椋　泰志君）　地籍調査費ですね、前年度と比較して5,０００万以上の事業費がアップしてるということなんですけども、この理由というのは、新しい工法入れたということも理由になるのか、それとも事業費が大幅に増えたということなのか教えてください。

○議長（松原　成利君）　松村建設水道課長。

○建設水道課長（松村　倫明君）　こちら予算額につきましては、8年度になりますが、新規2地区が追加されまして、それまでに実施しておりました7地区についても、今後もずっと作業といいますか、事業は継続してまいりますので、実質数が増えているということが大きな原因の一つとなっております。以上でございます。

○議長（松原　成利君）　そのほか。

5番、河村議員。

○議員（5番　河村　明浩君）　今の地籍の小椋議員のことですけれど、リモートセンシングによる航測法の調査は、普通の調査より進捗が早くなるのか、それとも委託費が安くなるのか、その辺を教えていただきたいと思います。

○議長（松原　成利君）　松村建設水道課長。

○建設水道課長（松村　倫明君）　このリモートセンシングのメリットでございますが、今後所有者の方が高齢化がどんどん進みまして、現地のほうに立ち入ることが困難であるということが今後想定されることでございまして、このメリットといいますのが、例えば公民館にいたままで画面を見ながら境界を確認していただけるというようなことが可能になりますので、そういった部分では所有者の方への今後の境界確認という部分につきましては現地で直接の確認をしていただかなくてもよくなりますので、作業のほうの進捗というのはかなり進むのではないかというふうに考えております。

また、費用面につきましては若干の、高速レーザーですとかそういう測量を使いますので、従

前のものよりは金額は上乗せされるような形になっております。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、６４ページ下段、商工費、１、商工総務費の商工費職員人件費から６７ページ上段、商工費、４、公園等管理費の都市公園施設維持管理費まで、質疑ありませんか。

２番、石谷議員。

○議員（２番　石谷　　正君）　予算書６５ページで、説明資料の１９７ページです。商工振興費が前年より予算多くした要因というのをまず教えていただけますでしょうか。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　商工振興費全体のお話ということでよろしいでしょうか。（「はい、まずは」と呼ぶ者あり）一番大きな理由としましては、企業立地促進補助金ということで新たに起業する事業に対してということで、令和８年度、２件、2,０００万円の補助金を見込んでおりますので、大きな理由としてはそちらかなというふうに考えております。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　２番、石谷議員。

○議員（２番　石谷　　正君）　実は三朝町企業立地促進補助金が占める割合が高いというのは容易に分かったんですが、今年が２件計画ということでよろしいですか。分かりました。それでですね。分かりました。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　そのとおりでございます。

○議長（松原　成利君）　７番、山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　そこの同じことですけども、この２件というのは努力目標なのか、ある程度感触があっての２件なのか、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　こちらの補助金でございますが、御覧いただいたとおりかなり大きな規模の補助になりますので、事前に相談等をいただいた上でこちらも計上していくといったような流れになろうかと思います。

○議長（松原　成利君）　７番、山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　これからのスタートという考え方ですか、いわゆる接触があったりして、その辺である程度それを見込んでの設定なのか、全く未知の状態なのか。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　相談があってということでございます。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

4番、小椋議員。

○議員（4番　小椋　泰志君）　６６ページ、説明資料２００ページの多目的駐車場施設整備費、ここにトワイレの製作及び設置工事ということがあるんですけれども、あえてトワイレを設置するという理由について教えてください。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　トワイレの設置理由でございますが、こちらにつきましては、Ｍ＆Ｃ鳥取水力発電株式会社様、今、小鹿発電所とかを委託事業されているところからトワイレというものの寄贈のお話がございまして、そちらに基づいてトワイレを多目的駐車場に設置をするといったものでございます。

○議長（松原　成利君）　4番、小椋議員。

○議員（4番　小椋　泰志君）　トワイレのトイレというのは僕もちょっと調べてみたんですけれども、災害時なんかにいろいろ移動もできて、そういったことにも活用もできるということも何か出てたんですけど、そういったことも考えておられるのか。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　トワイレ自体は御指摘のとおり災害時にも使えるということでございますが、寄贈の話をいただいた時点で、こちらとしても観光場所にトイレを増設といいますか、設置をするという要望も以前から出ておりましたので、もちろんそういった使い方もできるんですけれども、本町においては多目的駐車場のほうに常設設置をして、公衆トイレということで運用を図ってまいりたいというふうに考えてございます。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

7番、山口議員。

○議員（7番　山口　　博君）　同じページですけども、三朝町為替相場急変緊急対策特別金融というかですけども、これは町内に輸出とか輸入とかに関連した企業の実態はどのようになってるのか教えてもらえたらと思います。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　為替相場急変の支援事業でございます。こちらにつきましては、例えば同じ項目の中でエネルギーであったりとか燃油だったりということでございまして、それ

ぞれの急変に伴って融資を受けられた事業者さんに対する利子の補助ということでございまして、それぞれの事象が起こったときにそういった利子補助の事業が立ち上がりますので、それに基づいて事業者様が事業を選んでいただいて融資を受けられた際に利子を補助するということでございます。

○議長（松原　成利君）　4番、小椋議員。

○議員（4番　小椋　泰志君）　予算書66ページ、説明資料203ページの日本遺産の活用補助金についてです。ここの協議会活動補助金というのは、いわゆる協議会に対して出す補助金ということだと思います。それで、もう一つ、活用した文化イベント補助金という、これはどこに対してを想定されてるんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　文化観光イベント補助金でございますが、こちら名前のとおり、日本遺産を活用した文化観光に資するイベントをしていただける団体に対して補助するものでございます。例えば一例でいきますとジンショだったり、あとは日本遺産のウオーキングだったりというイベントに出すものでございますし、このたび増額をした理由としましては、それに加えて新たに日本遺産というブランドを活用した商品造成等を行っていただく事業者に対しても一定の補助をするということで考えておりますので、そちらのほうが増額となってございます。

○議長（松原　成利君）　4番、小椋議員。

○議員（4番　小椋　泰志君）　ということは、複数の事業者に対しての補助金を想定してるということなんでしょうか。

それとあわせて、ここによく出てくる言葉が、「かせぐ観光」というのが言葉としてはよく説明の中に出てくるんですけども、これというのは何を意味されているのかということを教えてください。

○議長（松原　成利君）　竹本観光交流課長。

○観光交流課長（竹本　将樹君）　2点御質問があったかと思います。最初の質問ですけれども、事業者というのは複数の事業者ですね、日本遺産を使って商品造成等をいただく事業者に対しては広く補助を行っていきたいというふうに考えてございます。

もう一つ、「かせぐ観光」の意味でございますが、そもそもの日本遺産のコンセプトとしては、日本遺産のストーリーを使って地元にお金が落ちる仕組みをということで文化庁がコンセプトに掲げておるというところがございますので、そのままのとおりなんですけれども、日本遺産を使ってどんどん地元にお金が落ちるような取組を行っていきたいというものでございます。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、６７ページ下段、土木費、１、土木総務費の土木総務一般経費から７０ページ中段、土木費、１、住宅管理費の町営住宅改修事業まで、質疑ありませんか。

5番、河村議員。

○議員（5番　河村　明浩君）　６８ページの道の駅の管理についてでございますけれど、トイレを管理すると、適切に管理するということで、今回雪が降ったときに国道を除雪されて車が駐車できなかったということがございますので、二、三台で構いませんので、トイレが、ここにも書いてありますように、１１９ページの予算説明資料ですけれど書いてございますように、利用者の利便性を図る上でも除雪のほうするべきだと思いますし、まずトイレに簡単な道の駅の看板等を取り付けるというようなことも必要だと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（松原　成利君）　蔵増建設水道課参事。

○建設水道課参事（蔵増　繁幸君）　2点あったと思います。

1点目ですが、駐車場の除雪についてでございます。基本的には、町道の除雪を優先させていただいてやらせていただいております。しかしながら、駐車場のスペースとして利用していただくためには、今後検討も必要ではないかというふうに考えております。

もう一点ですが、看板につきまして、こちらにつきましても、簡易なものをつけさせていただいておりますが、ちょっと現地のほうをよく確認させていただきまして、こちらのほうにつきましてもできることについて検討させていただきたいと思っております。以上です。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

7番、山口議員。

○議員（7番　山口　　博君）　そこのところに道の駅のほうで管理費の中に道の駅カードを作るというのが、準備するというのが、昨年も同じ文言で準備するという形で、今年も準備するという形ですけど、現実にそれを作られたのか、その辺はどうなってますか。

○議長（松原　成利君）　蔵増建設水道課参事。

○建設水道課参事（蔵増　繁幸君）　今年というのは令和7年ということでよろしいでしょうか。令和8年。（「もう作られたかどうか、カードを」と呼ぶ者あり）作っております。

○議長（松原　成利君）　よろしいですか。

7番、山口議員。

○議員（７番　山口　　博君）　６９ページに県営急傾斜地崩壊対策事業負担金８１８万円ですけども、これの説明のところを見ますと、全く同じ項目の事業内容が書いてあって、金額が半分ぐらいになってるんですけども、いわゆる工事の進捗状況はどのようになってるのか説明してください。

○議長（松原　成利君）　蔵増建設水道課参事。

○建設水道課参事（蔵増　繁幸君）　工事の進捗状況ということでございますが、工事の主管は鳥取県がやっておりますので、正確なところは私のほうで申し上げることはできませんが、穴鴨地区につきましてはほぼ完了、下西谷・牧地区につきましては工事中でございます。片柴地区につきましては、今のところ実施設計を行っているというところでございます。以上です。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、７０ページ下段、消防費、１、常備消防費の中部ふるさと広域連合負担金（消防費）から７２ページ上段、消防費、５、原子力防災対策費の原子力施設安全防災対策費まで、質疑ありませんか。

６番、吉村議員。

○議員（６番　吉村美穂子君）　予算資料は７２ページで、説明資料は５３ページです。防災広場整備事業ということで、令和７年度に検討委員会の委員報酬が出て、をもっての広場の整備事業と思うんですけども、広場の内容と、どこにそういう広場ができるのか教えてください。

○議長（松原　成利君）　山口総務課参事。

○総務課参事（山口　圭一君）　防災広場の件について、概要等説明させていただきます。

令和７年度に３回ほどですが、検討委員会、有識者等、消防団員等集まっていただきまして、検討会開催いたしまして案を取りまとめたというところでございます。場所につきましては、本泉の多目的スポーツ広場、以前のテニスコートがあった場所でして、現在ですと真砂土も積んでいるという場所でございまして、こちら全体を整備したいと考えているものでございます。

あと内容もですかね。（「どのように活用」と呼ぶ者あり）活用の方法といたしましては、消防団員等による訓練であったり防災訓練であったり、あと一時避難所や物資の集積場所、レクリエーション活動等にも幅広く活用可能となるような場所というふうに考えております。よろしいでしょうか。以上です。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、７２ページ下段、教育費、１、教育委員会費の教育委員報酬から８１ページ、教育費、３、学校給食費の学校給食費負担軽減事業（中学校）まで、質疑ありませんか。

９番、遠藤議員。

○議員（９番　遠藤勝太郎君）　７８ページの文化財の調査費の中に日本遺産の関係が書いてあるわけですけれども、今、世界遺産という項目がなくなりまして、社会教育課に人件費１人分というのをつけるよという考えでおりますが、どのような活動されておるのかちょっと聞きたい。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　ちょっと世界遺産という言葉と、あとちょっと文化遺産という言葉を同一で考えていいのかどうか分からないんですけど、人件費の話でよろしい。（「人件費を聞いとらんよ、どがな活動されとるか聞いとる」と呼ぶ者あり）それは世界遺産についてですか。（「聞くところないけえそこで聞いただが。そういうふうに言ったがな」と呼ぶ者あり）

まず、三朝町が長年にわたり三徳山の世界遺産登録を目指しております。現状を申し上げます。しかしながら、ユネスコが求める顕著な普遍的価値の証明やその他厳格な保護管理体制の構築には、現時点では高いハードルが存在しております。しかし、三徳山が持つ文化的、歴史的価値は揺らぐものではありませんので、私たちは登録という結果がすぐに見通せない現状において、前向きに地道に継続してまいります。

まず、普遍的価値を裏づける科学的な証拠を集め、学術的証拠の積み上げを行います。発掘調査や文化財調査を継続し、その歴史的意義を専門的な視点から究めていきたいと思っております。

それに付随しまして、日本遺産を軸とした活動を深化させることとしております。より高度な保護・活用能力を養うステップを踏んでいきたいと思っております。地域住民や三徳山、行政が一体となって三徳山の景観と安全を守り抜く保護の文化を地域に啓発していきながら、観光振興や国際交流を通じて三徳山の魅力を国内外へ発信していくことも目指しております。

最後に、世界遺産の登録形態が、単独ではなくて複数の文化遺産から成る遺産群へ移行しております。三徳山が他地域と連携して輝ける新たな可能性を長期的な視点で模索していくこととしております。答弁は以上です。

○議長（松原　成利君）　９番、遠藤議員。

○議員（９番　遠藤勝太郎君）　今説明ありましたけれども、パイプがだんだん細くなってね、見えにくい姿になってないかと私は思っておりまして、今、日本遺産が本気でやるというのは分か

るんですけれども、併せていうことだったら、発掘調査が日本遺産、世界遺産につながるという考えですか。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　発掘調査の件で御質問をいただいてます。今行っている神倉の発掘調査というものが……（「単刀直入でええけ。つながるかつながらんかでええわいな、こんな長く言ってもらわんでも」と呼ぶ者あり）日本遺産、世界遺産に向けての価値づけの手法の一つであると考えております。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　今、向けて発信だかって言いなったな、日本遺産、世界遺産に向けて。全然そういうスタイルは見えてこんだけどね、申し訳ないけど。

それで、項目が廃止になってもね、例えば日本遺産に併せてこういうこともしとりますというのを書いてもらわんと分かりにくいし、やめるならやめるってはっきりきめひきしたほうがええと思うですわ、生かさず殺さずじゃなしにね、きっぱりと。やっぱりできんならできんという諦めが肝腎、私はそう思いますけど、どうですか。

町長でもええで、答弁、なら。できなんだら、課長がいけなあ。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　繰り返しになりますが、引き続き新たな可能性を長期的な視点で模索していくこととします。以上です。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　81ページの調理センター一般経費の中で、内訳に給食配送業務というのが上がっておりますが、配送業務に充てられる、充当される金額は幾らかちょっと聞きたい。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　給食配送に係る委託費でございますが、令和8年度は171万円を計上しております。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　今までは小学校が3つあって、配送するのも大変だと思いますけれども、今は調理センターの隣が小学校という流れになって、人件費削減って申し訳ないけども、例えば副所長おられますね、調理センター、その人が業務を代わってするというようなことは検討されなかったでしょうかどうか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　以前にもこういった御指摘、御質問をいただいております。調理センターには職員として副所長が１名おりますが、午前中からの給食を作る作業の中でも入っておりますし、ほかに事務仕事を担当しております。それと副所長が休みの場合はどうするのかというようなこともございますので、やはり外部業者に委託をして配送業務の安定化を図っているというところでございます。

○議長（松原　成利君）　９番、遠藤議員。

○議員（９番　遠藤勝太郎君）　実際、昨年そこのときに、配送状況も見に行かせていただきました。要するに、あのときは運転手と２人、業務でやっておられたというふうに認識しておるわけですが、そのときにも副所長は出てみとられたという格好からすれば、その辺は時間的に余裕があるじゃないかと思って聞いとるわけでありまして、それで、あの受入れ側のほうの西小学校のほうも担当者がおられて荷を引き取られるというようなことされたと思っておりまして、これはやって配送費を削っても大勢に影響ないかと思って聞いとるわけでございまして、それで、なら副所長は激務でそういうことの対応できる余裕がないということでしょうか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　議員の皆様にも配送状況を確認をいただいております。あの日につきましては、御船副所長も現地のほう見ておりましたが、やはり年間を通しての業務でございますので、日々の業務の中で副所長が担うところも、業務の量によって、また季節によって変わってくると思います。それを踏まえて、現在外部業者に委託をしているという状況でございます。

○議長（松原　成利君）　９番、遠藤議員。

○議員（９番　遠藤勝太郎君）　調理センター施設改修費というのが毎年４００万ぐらい上がっとるわけですね。それで、調理センターができてからもう２５年以上過ぎましたよね、たしか。うそですかいね。たしか２０年を過ぎておると思うわけですが、だんだんと老朽化してくるということと、給食の配食数というか、人数が減っとる関係でだんだんと作らなくなってくるということを考えれば、新たに新築というような格好で調理センターも小学校の隣ぐらいに建ててという計画もされとるでしょうか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　調理センターにつきましては、竣工後２０年以上を経過しておるところでございます。議員の御指摘のとおり施設のほうも老朽化しておりますが、調理センタ

一単体での更新、建て替えということは現在のところ検討はしておりません。小学校の新校舎ができまして、次の中学校の校舎を整備を検討する段階で、併せて調理センターのほうも考えてまいりたいと思います。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　小中一貫校も先に目に見えとると思うわけですが、もうそろそろそういうのを考えておられないけん時期やと思いますし、先ほど、申し訳ない、副所長の仕事を激務かどうかと聞いたときにね、この間、私ごとで申し訳ないけど、詳しい人もおりまして、何だか雨漏りもするし、それから副所長は給食の米に石が入っとって、その石よけするという話まで聞いてますんで、そういうことが仕事なのかな、それができるだったら給食の配送ぐらいできるんじゃないかと思ってさっき聞いたわけですわ。その辺どうなんですか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　業務の効率化については今後も検討してまいりたいと思いますし、効率化を図った上で副所長の業務もまた新たなものも出てくるかもしれませんので、その辺りは御理解をいただきたいと思います。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　学校給食負担軽減事業について伺います。先ほど金額を確認させていただきましたが、この分は小学校の5,２００円掛ける生徒数という考えで上がった金額というふうに言われました。確認しました。それで、これ今、1市4町で給食費を比べてみると、三朝町も高いレベルのほうに行っとるというふうに思います。それは地産地消の関係で、この間、河村議員の一般質問で町長が８５％以上が地産地消にしとるという話で、やっぱり高くなるのは当然だというふうに思いますが、倉吉市は5,０００円でやっとるわけですね。そしたら、5,２００円もらったら２００円余るという格好ですわな。三朝町の場合は今、金額5,９８２円、新聞報道によりますと。これで間違いないですか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　議員の御指摘の金額は、報道機関による積算によるものだと思います。本町としましては、今年度、小学校でいいますと３３８円で令和8年度は３４５円、7円の値上げを予定しておりますが、一月当たりでいきますと３３８円で一月２０食で計算しますと6,７６０円という月額になります。以上です。

○議長（松原　成利君）　9番、遠藤議員。

○議員（9番　遠藤勝太郎君）　誤解されんために確認しときますけども、無償化に向けての取組

ということで、無償でないですね、要するに。要するに、だけえその差額分というのは保護者に負担を求めるのか。全額町が持てるわけじゃないでしょうから、その辺はどうですか。

それで、もう一つ、もう一点は、町長の答弁では中学校も同じように小学校並みの国の補助に合わせた金額6,６００何ぼか、その金額が上がっとるわけだけども、中学校も同じように増額分というか、その辺は同じ対応されるのか。

それで、もう一点、今ね、食品の高騰、食材費の高騰ということでいろいろ大変だと思うわけですけれども、今、給食のあれは上期と下期に分けて入札ですよね、食品の価格。（「米ですか」と呼ぶ者あり）何でもが。食材費。米だけじゃない、油なんかもそうじゃない、天ぷら油なんかも。担当者が分からんこと言われとるですか。多分そがいに聞きましたが。天ぷら油がどうこうということも聞いて。ですから、物価上昇しとって、値下がりしとるのは今年の場合は米が値下がりすればするというぐらいのもので、野菜とか米ぐらいかな、下がるのは。今年の場合は北海道の干ばつによってジャガイモや、それからタマネギが高騰しとるということのようでしたが、この辺、例えば今回、給食費値上がりしてまた再度値上がりしたときには、上期、下期、下期の場合はそれ入札で決まるわけですけど、下期のときはまた給食費変動するということで考えていいんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　角田教育総務課長。

○教育総務課長（角田　正紀君）　まず、中学校の。（「どっちでもええ、小学校でも。一緒だけえ。値上げ分。値上げ分って、不足分だが、不足分。それは保護者負担を求めるかどうか」と呼ぶ者あり）令和８年度の給食費の負担軽減事業については、当初、国も３党合意により無償化ということで政策は進めておりましたが、予算編成の段階で抜本的な負担軽減ということに方針を転換されておられます。学校給食法のほうも改正をされずに、地方自治体が保護者に負担を求めることを可能とするとされたままでございますので、引き続き町の方針として、一部の負担は御負担をいただきながら、国の交付金、そして町の一般財源も投入して、小・中学校の保護者負担を大幅に令和８年度は軽減するという事業でございます。

○教育総務課長（角田　正紀君）　９番、遠藤議員。

○議員（９番　遠藤勝太郎君）　ちょっと教育長に聞きますが、前教育長の場合は、あくまでも給食費は保護者に負担を求める、ほかのことについては絶対に支援をするというような考え方で臨まれてたわけですけども、塩谷教育長はどういう考えでしょうか。

○議長（松原　成利君）　塩谷教育長。

○教育長（塩谷　俊樹君）　前教育長は保護者に給食費は求めて、ほかで保障していきますよとい

うような話、考え方だったというふうに私も認識をしておりますが、普遍的に私はそういうふうにずっと考えていくものではなくて、当然国が全てを賄ってくれるような予算を配分をしていただけるのであれば給食費は当然全部無償化してもいいのだろうとは思いますが、現在はその金額が出てないわけですから、保護者にある程度の負担をいただければなというふうに思っております。（「もう一遍だな。もう一遍やらせてもらって」と呼ぶ者あり）

○議長（松原　成利君）　今のが3回目ですよ。（「済んだ」と呼ぶ者あり）済んでる。

ちょっと1回、じゃあ8番、藤井議員。

○議員（8番　藤井　克孝君）　７９ページ、図書館費、それで前回説明された部分で、図書館施設改修費、これ二、三十年多分たっとると思うだけど、改修部分で1,１１５万6,０００円という金額が上がってる中で、まだまだやっぱり建物も老朽化しとるんで、あとどの部分が改修しなくちゃいけない部分があるのか、ちょっと教育長と課長にどのようにこれから計画を立てて改修されていくのか、まだ多分悪い部分があると思います。やっぱり町民、他の市町村でも安心して読書ができるようなやっぱり体制をつくっていかなくちゃいけないと思いますので、ちょっとそこら辺を踏まえて再度残りの部分でもあればお聞かせください。

○議長（松原　成利君）　塩谷教育長。

○教育長（塩谷　俊樹君）　当然安心・安全をして図書館を町民の皆さんに利用していただく、これは使命だと思っておりますし、そういうふうにしていかなきゃいけないと思っておりますが、どのぐらい補修が必要かというのを計画を出させてますので、今のところはその計画に沿って修繕、補修をしてやっていきたいなというふうに思っております。詳細、具体的には安田館長のほうから答えさせていただきます。

○議長（松原　成利君）　安田図書館長。

○図書館長（安田　　寛君）　今回の改修につきましては、令和7年に実施をいたしました建築物調査を基に、悪いところを特定して改修の箇所を特定をして、上で改修の予算化をさせてもらったところです。

確かにおっしゃられるように、今回上げた箇所以外にも、内部のほうの床であるとか外壁であるとかといったとこの箇所の修繕も必要でございます。ただ、今回の予算につきましては緊急性の高いところの予算化のほうさせていただきました。また、全体的な町の改修のほかの施設の予算のこともございますので、全体的なバランスを見ながら年次的に次年度以降も予算化をさせていただきたいなというふうに思っておりますので、またそのときには御相談させていただけたらというふうに思います。よろしくお願いします。

○議長（松原　成利君）　8番、藤井議員。

○議員（8番　藤井　克孝君）　ぜひともね、教育長と課長話し合って、計画なり立ててやっぱり予算計上していっていただきたいと思いますので、よろしくお願いしますはいけんな。考えていただけますことをお願いします。お願いいけんだ。

○議長（松原　成利君）　お願い、質問。

○議員（8番　藤井　克孝君）　お願いじゃないです。考えてください。

○議長（松原　成利君）　6番、吉村議員。

○議員（6番　吉村美穂子君）　予算書は７７ページ、説明資料は２２６ページですけれども、社会教育総務費の地域が育てる子ども総合対策事業の中で、令和7年度はみささ青空体験塾はＮＰＯ法人に事業委託ということになってたんですけれども、令和8年度は事業委託をしなくなったということなんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　吉村議員の質問にお答えします。

　青空体験塾に関しての質問だったと思いますが、令和8年度も引き続き委託して事業を実施してまいります。以上です。

○議長（松原　成利君）　6番、吉村議員。

○議員（6番　吉村美穂子君）　じゃあ事業委託するということで、これ予算がかなり上がってるんですけれども、事業が何か増えたとかですか。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　事業費が増えたことについての御質問だったと思います。増額した理由ですが、3点ございまして、1点は事業が拡大しております。令和7年度は、募集する児童を小学校1年から小学校3年まで、人数を３０名ということで募集しておりました。令和8年度は、小学校3年生から小学校6年生まで、定員は４０名ということで募集をする計画です。

　2つ目に、事業団体の持続の可能性と体制の若返りということを考えております。受託団体から高齢化により今後の事業継続は困難になるであろうという声を聞いておりますので、今後も安定して事業継続が行えるよう、負担軽減のため、外部からの支援の導入や若手スタッフの雇用を確保するための人件費単価の適正化を図っております。

　3つ目に、活動の場が屋外、自然体験が中心になりますので、参加者の事故を未然に防ぐための安全性の担保ということも優先しております。受託団体が安心して活動に従事できて、保護者が信頼して子供を預けられるという安全環境を整備することとしております。その部分を踏まえ

ての増額であります。以上です。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。

１番、伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　予算書７７ページ、予算説明資料が２２６ページのとこのコミュニティ・スクール推進事業というところでございます。事業内容の中に学校と地域の連携を図る地域学校協働活動推進員を配置するというふうになってます。この学校というのはどこの学校のことをいっているんでしょうか。小、中、高、大学、いろいろとあると思うんですけども、この辺御説明ください。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　コミュニティ・スクール推進事業についての御質問であったかと思います。ここで指す学校というのは、三朝小学校と三朝中学校になります。以上です。

○議長（松原　成利君）　１番、伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　ありがとうございます。

ちょっと話が若干ぶれるかもしれませんが、高校生との連携というのは何か考えておられるんでしょうか。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　コミュニティ・スクール推進事業の中においては、高校生というところは今はちょっと考えておりません。以上です。

○議長（松原　成利君）　１番、伊藤議員。

○議員（１番　伊藤　博文君）　高校生との連携というよりかは、小・中学校は三朝の中で活動範囲なんですけど、高校生になるとどうしても県、町外に行ってしまうので、関係性が薄くなるというのは前々からお話をされてる中で、社会教育の一環として高校生が何か三朝町とつながりを持つのがひいては町民愛とか帰ってくる一因になるかなと思いまして、ちょっと聞いてみました。そこら辺をちょっとどういうふうにお考えなのか。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　以前は高校生サークルという、地元出身の高校生がサークル的に集まって活動するということもありました。現時点でそういう団体はあるのかと言われると、ないのが現状であります。おっしゃるとおり、今後高校生との関わり方というのも大事なことになろうかと思います。これから少しちょっと考えていきたいと思います。以上です。

○議長（松原　成利君）　塩谷教育長。

○教育長（塩谷　俊樹君）　今の伊藤議員の話はもっともだと思います。高校生とのつながりがなかなかないなというのは私も感じてるとこですので、先般も森田地域プロジェクトマネージャーの活動、連携をしながら、西高生の活動を見に行ったりはしたんですが、ぜひ社会教育等の中で何か高校生とのつながりを持つ活動ができないか、前向きに検討していきたいと考えております。

○議長（松原　成利君）　そのほかありますか。別件。

1番、伊藤議員。

○議員（1番　伊藤　博文君）　すみません、予算書77ページですね……。

○議長（松原　成利君）　音が入りませんので、ちょっとマイクを手元のほうに向けてください。

○議員（1番　伊藤　博文君）　予算書は77ページ、予算説明資料が227ページなんですが、三朝大学の件を上げられてると思います。世代のニーズに問わずというふうなとこあるんですが、実際三朝大学を受講されている方の年齢層、ざっくりどんな感じか、ちょっと教えていただきたいんですが。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　三朝大学についての御質問だったと思います。御参加いただいている方の年代ですが、大体65歳から上の年齢であります。令和7年度の参加者は39名でありました。以上です。

○議長（松原　成利君）　1番、伊藤議員。

○議員（1番　伊藤　博文君）　何か若い人が参加できるような施策というか講習内容ですね、ぜひやってほしいなと考えておりますけども、谷川課長、いかがでしょうか。

○議長（松原　成利君）　谷川社会教育課長。

○社会教育課長（谷川　篤志君）　三朝大学に関しての御質問でした。令和6年度には三朝大学の特別講座として、自転車に関する講座であったりとかコーヒーに関する講座であったりとか、新しいテーマのものもやっております。引き続きいろんなテーマ、ニーズのあるテーマを企画してまいりたいと思います。以上です。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　いいですか。質疑を終結いたします。

しばらく休憩いたします。再開を1時15分といたします。

午後0時02分休憩

午後1時10分再開

○議長（松原　成利君）　皆さんおそろいですので、再開いたします。

次に、８２ページ上段、災害復旧費、１、過年発生農林水産施設災害復旧費の小災害復旧事業費（農林施設等）（過年）から同ページ下段、２、現年発生公共土木施設災害復旧費の地域共同施設災害復旧事業まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、８３ページ上段、公債費、１、元金の経常元金から８４ページ下段、予備費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、８５ページから９１ページの給与費明細書、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、９２ページから９４ページ、債務負担行為に係る支出予定額等に関する調書及び９５、９６ページの地方債に係る現在高の見込みに関する調書について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

最後に、その他全般について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

以上で、議案第８号、令和８年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結いたします。

続いて、議案第９号、令和８年度三朝町国民健康保険事業特別会計について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第１０号、令和８年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第１１号、令和８年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

2番、石谷議員。

○議員（2番　石谷　　正君）　介護保険事業において、前年度より約1,０００万円少なくなった、予算が少なくなった要因をちょっと教えていただけますでしょうか。

○議長（松原　成利君）　岩山福祉課長。

○福祉課長（岩山　裕和君）　前年度比1,０５０万円ほど減となっておりますが、こちらの主な要因としましては、介護サービス、介護予防サービスなどへの公費負担である保険給付費が減少しております。前年度から1,６６０万円減額となっております。

○議長（松原　成利君）　2番、石谷議員。

○議員（2番　石谷　　正君）　三朝町が高齢化率３０％以上ということで、鳥取県内においても上位になっております。介護予防が結構重要な項目になると思いますが、その辺りの充実を今後図られるというような形で考えてよろしいでしょうか。

○議長（松原　成利君）　岩山福祉課長。

○福祉課長（岩山　裕和君）　今、三朝町の介護認定者数と介護認定率が近年、微減傾向にあります。こちらのほうは、従来から行っております介護予防対策が減額に結果が表れているところと認識しておりますので、引き続き介護予防対策に取り組んでいくところです。

○議長（松原　成利君）　そのほかありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑を終結し、進行いたします。

議案第１２号、令和8年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第１３号、令和8年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第１４号、令和8年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、議案第１５号、令和8年度三朝町下水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

続いて、議案書により進めます。

議案書３ページから１０ページ、議案第１６号、三朝町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案書１１ページから１２ページ、議案第１７号、三朝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案書１３ページから１５ページ、議案第１８号、三朝町手数料条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案書１７ページから１８ページ、議案第１９号、三朝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案書１９ページから２０ページ、議案第２０号、三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案書２１ページから２２ページ、議案第２１号、三朝町介護保険条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案書２３ページ、議案第２２号、温泉資源活用施設の指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案書２５ページ、議案第２３号、三朝町過疎地域持続的発展計画の策定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

続いて、追加議案書により進めます。

追加議案書3ページから４０ページ、議案第２４号、令和7年度三朝町一般会計補正予算（第9号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

追加議案書４１ページから４８ページ、議案第２５号、令和7年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

追加議案書４９ページから５５ページ、議案第２６号、令和7年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第4号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

追加議案書５７ページから６５ページ、議案第２７号、令和7年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

追加議案書６７ページから８２ページ、議案第２８号、令和7年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

追加議案書８３ページから９８ページ、議案第２９号、令和7年度三朝町下水道事業会計補正予算（第5号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案に対する質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております２２件の議案のうち、議案第８号、令和８年度三朝町一般会計予算、議案第２４号、令和７年度三朝町一般会計補正予算（第９号）については、５人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思います。これに御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　御異議なしと認めます。よって、議案第８号、令和８年度三朝町一般会計予算、議案第２４号、令和７年度三朝町一般会計補正予算（第９号）については、５人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会を設置し、これに付託、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。特別委員の選任は、議長において指名いたしたいと思います。これに御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。

指名いたします。総務教育常任委員会から小椋泰志議員、森貴美子議員、産業民生常任委員会から遠藤勝太郎議員、伊藤博文議員、副議長、山口博議員、以上５名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名しました５名の諸君を特別委員に選任することに御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から小椋泰志議員、森貴美子議員、産業民生常任委員会から遠藤勝太郎議員、伊藤博文議員、副議長、山口博議員、以上５名の諸君が特別委員に選任されました。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の２０件の議案は、お手元に配付している議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託したいと思います。これに御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松原　成利君）　御異議なしと認めます。よって、議案第８号及び議案第２４号を除く２０件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

○議長（松原　成利君）　以上で本日の日程は全て終了いたしました。

明日からは日程表のとおり各委員会を行い、３月２３日の最終日は午後３時から本会議を開催いたします。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さまでした。

午後１時２４分散会
